

2017年(平成29年度)複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	Ⅱ-1 低炭素・省エネルギー社会の構築 Ⅲ 魅力と活力ある快適な地域づくりの推進	施策No.	11 33	施策名	ヒートアイランド現象の緩和 暮らしやすい快適な都市環境の確保(ヒートアイランド現象の緩和)
-----	---	-------	----------	-----	--

目的、内容	住宅地域における夏の夜間の気温を下げる目標を達成するために、①人工排熱の低減、②建物・地表面の高温化抑制、③都市形態の改善についての取組を推進。また、屋外空間における夏の昼間の暑熱環境を改善するために、適応策を推進。 ※「おおさかヒートアイランド対策推進計画」における2025年度の目標 ・住宅地域における熱帯夜日数(地球温暖化による影響を除いて最低気温25℃以上となる日数)を2000年より3割減 ・クールスポットの活用や創出により夏の昼間の暑熱環境を改善				
副次的効果、外部効果等	人工排熱削減は、家庭及び事業所の低炭素化に資する。 建物・地表面の高反射化・外断熱化は、建築物内の空調負荷の削減を通じて、家庭及び事業所の低炭素化に資する。 都市形態の改善として、みどりの風促進区域におけるヒートアイランド対策の取組を推進することにより、みどりの風を感じる大都市・大阪の実現化に資する。				
関係法令、行政計画等	大阪府市ヒートアイランド対策基本方針(2014年3月) 環境省ヒートアイランド対策ガイドライン(2012年度改訂) おおさかヒートアイランド対策推進計画(2015年3月策定、2025年度まで)新・大阪府ESCOアクションプラン(2015年2月)				
国等の政策、社会情勢等	2013年7月より中央環境審議会地球環境部会 気候変動影響評価等小委員会において温暖化の影響への政府全体の「適応計画」策定に向けて審議 ヒートアイランド対策大綱(環境省 2015年5月改訂) 気候変動の影響への適応計画(環境省 2015年11月閣議決定)				
(参考)	2014年度(決算額)(千円)		2015年度(決算額)(千円)		2016年度(決算見込額)(千円)
講じた施策に記載した施策事業コスト	3,500		0		7,505
※各年度で「講じた施策」への掲載事業が異なることから、新規事業の有無等に関わらず、年度間でコストの増減がある。					
取組指標及び実績(施策効果の定量評価)	名称	把握方法	実績		
	① 2000年以降の地球温暖化の影響を除外して最低気温25℃以上となる日数(7月～9月)	おおさかヒートアイランド対策推進計画の進捗管理において把握	2000年37日、2014年29日 ※日数は大阪、豊中、枚方の3地点の平均日数(5年移動平均)		
工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況	
	人工排熱の低減	☆☆	府有施設ESCO導入事業 太陽光発電設備の導入	28事業70施設でESCO事業者を選定(2016年度末時点) (～2016年度)83.2万kW	
	建物・地表面の高温化抑制	☆☆	温暖化防止条例による環境配慮制度の推進 自然環境保全条例による規制 歩道透水性舗装整備	建築物の環境配慮制度により屋根面・壁面の高温化抑制を促進(2015年度)建築物環境計画書届出158件(大阪府、堺市受付分) 建築物や敷地の緑化を促進(2016年度)緑化届出518件、緑化面積約27ha (2016年度実績)17,948m <sup>2</sup>	
	都市形態の改善	☆☆	府道の緑化整備 府営公園開設	(2016年度)植栽本数 高木:426本、低木:約9,800本 (2016年度開設面積)985.5ha(2004年度比101.6ha増)	
	適応策の推進	☆☆	クールスポットの創出 打ち水実施	・クールスポット119箇所、クールロード121箇所、みどりのクールスポット92箇所をホームページで公開中 ・クールスポットモデル拠点推進事業…屋外空間における夏の昼間の暑さを改善するため、モデルとなるクールスポットの整備に係る費用の一部を補助。 整備完了:2件(2016年度) 府域の16の自治体において打ち水イベント等を実施:開催回数58回(2015年度)	
※進捗状況:☆☆☆計画以上の進捗/☆☆計画どおり/☆計画以下の進捗/△計画とは異なる事業内容で進捗					
評価		評価	理由等		
	施策目的の達成状況	順調に推移している	取組指標①は改善傾向で推移している。		
	事業・工程の進捗状況	概ね想定どおり進捗	・おおさかヒートアイランド対策推進計画に掲げた取組について、順調な進捗。 ・クールスポットモデル拠点推進事業について、予定件数どおりの整備が完了済み。		
計画見直し又は改善事項		見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等		
	目標	無			
	施策の方向・主な施策	無			
	工程表	無			
	その他の改善事項	無			
関係課室	エネルギー政策課、住宅まちづくり部、都市整備部、みどり推進室				

環境総合計画	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
--------	----------------	----------	------------------

<p>部会委員による点検（所見）</p>	<p>「2000年以降の地球温暖化の影響を除外して最低気温25℃以上となる日数」という指標については、温暖化の影響を特定の年度において把握することが困難とみられることから、必ずしも適切でないと思われる。都心部と、都心部から然程距離が離れていないが土地利用形態が異なる地点との比較などがより適切な指標ではないか。</p>	<p>人工排熱の低減という工程と、具体的な2事業の関係が明らかでない。太陽光発電事業は、温暖化対策ではあるが、ヒートアイランド対策と位置づけられるのか。ESCOは一般的な省エネであり、温暖化対策には直接結びつくが、直接排出源が域内にあるとか、エアコンの排熱の減少につながっているなどの関係がないと、ヒートアイランドの緩和には結びつかない。</p>	<p>評価手法の変更を検討されたい。</p>
----------------------	---	---	------------------------